

「子どもを守る」 防犯講習

防犯で
安全・安心な
まちづくり♪



群馬県 消費生活課 消費者支援・防犯係

1

1 子どもと犯罪



2

不審者認知状況

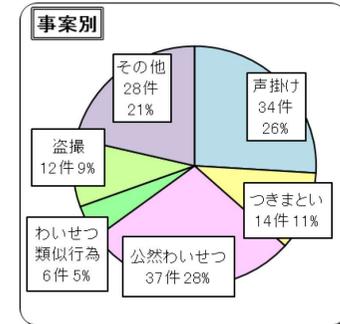
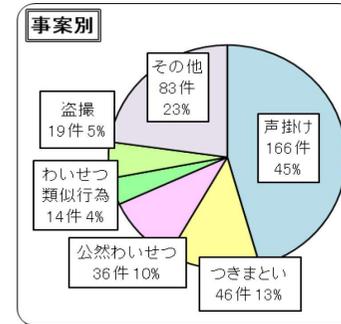
364件

令和5年中

3

事案別内訳(令和5年)

○ 子供対象 364件 ○ 女性対象 131件



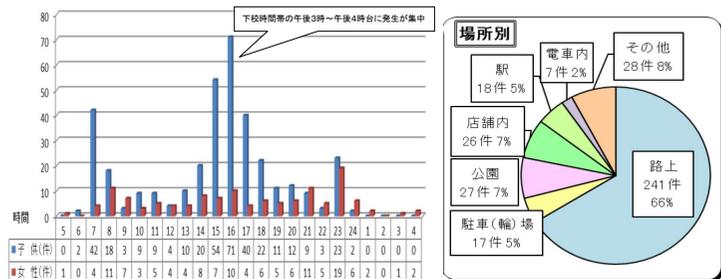
※子供…18歳以下の男女
※女性…19歳以上の女性

4

発生時間と場所

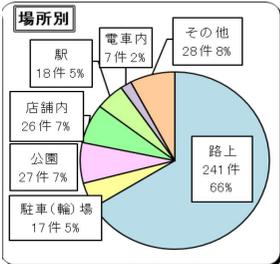
令和5年中

○ 発生時間帯別



発生時間: 朝の登校時間帯と午後の下校時間に多く発生

発生場所: 路上が66%、公園、駐車(輪)場、店舗内、駅、電車内 など



子どもが巻き込まれやすい犯罪

- 略取誘拐
- 不同意わいせつ
- 公然わいせつ
- 不同意性交等

5

6

2 子どもの安全確保対策 ～子どもを犯罪から守るには～



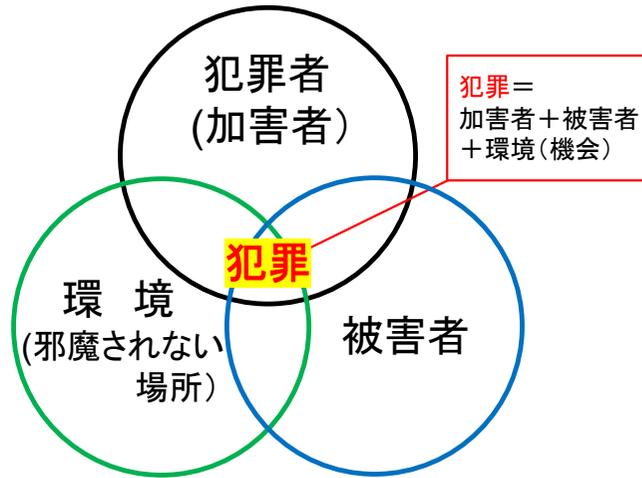
7

① 犯罪はなぜ起こるのか



8

犯罪が起こる3要素



9

犯罪原因論

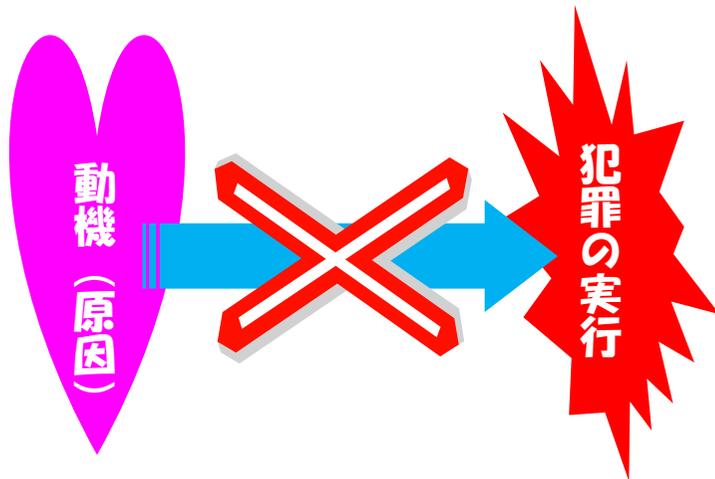
犯罪の原因となるものを除去することで
犯罪を抑制する。

- ・ 社会環境 (貧困や境遇) 経済状況の改善、処遇の向上
- ・ 嗜好、人格更正プログラムによる矯正

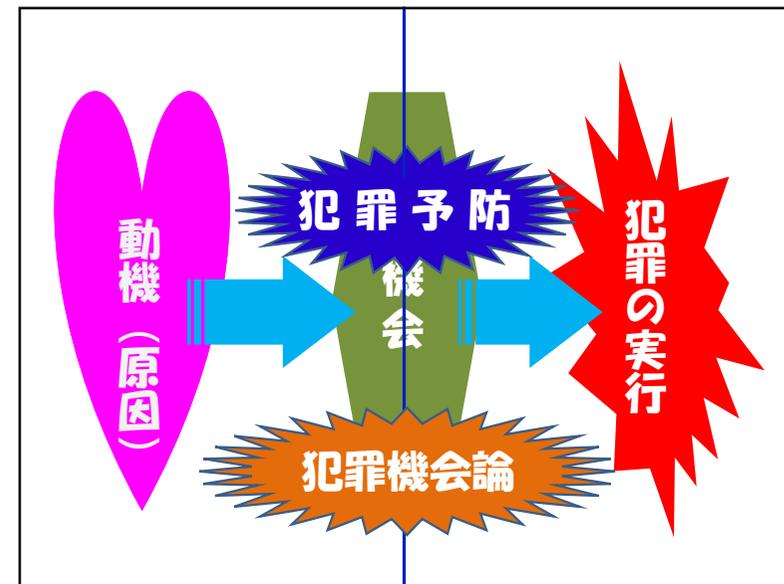
犯罪機会論

犯行に及ぶ機会をなくすことで犯罪を
抑制する。

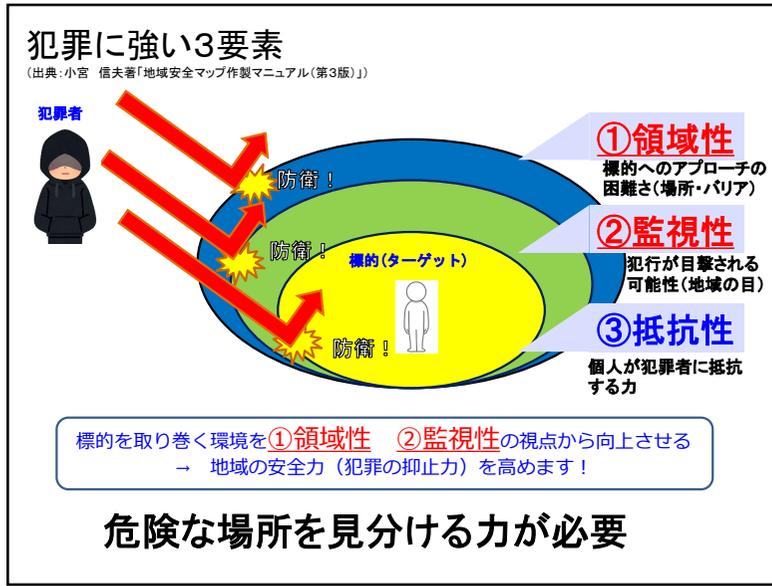
10



11



12



②危険な場所と安全な場所を見分ける力をつけるには

危険な場所と安全な場所を見分ける力

大人と子どもの両方に必要

- ・子ども:危険回避能力を高める
- ・大人:子どもや地域の安全を守る力になる

危険な場所を見分ける2つのキーワード

入りやすい場所
 犯罪者が、怪しまれることなく、簡単に子供に近づける犯罪者が好む危険な場所です。

見えにくい(見られにくい)場所
 犯罪者が、目撃されにくく、発見・通報されることがなさそうな、犯罪者が好む危険な場所です。

キーワードの解説

・入りやすい場所

- ・犯罪者にとって入りやすく、逃げやすい場所
(誰でも自由に出入りできる場所)
- ・不特定多数の人が利用する場所

・見えにくい場所

- ・第三者に目撃されにくい場所
- ・見通しがよくても人家や人通りのないところ
- ・人家のそばであっても家の中から道路の様子が見えないところ
(窓の向き、高い塀、高く密集した生け垣や樹木)

17

心理的に 見えにくい・見えやすい

・見えにくい場所 → 地域の監視力がない

- ・放置された落書き
- ・ゴミが捨てられ、散らかっている場所
- ・ルールが守られていないゴミ置き場
- ・不特定多数の人がいる場所

・見えやすい場所 → 地域の監視力がある

- ・子ども安全協力の家
- ・防犯ステッカー、防犯カメラ
- ・管理されているゴミ置き場、掲示板
- ・整備されている公園
- ・玄関前に飾られたお花 など

18

こんな場所に気をつけて

- ・駐車場や駐輪場
- ・高架下や地下道、歩道橋
- ・管理されていない空き地や空き家
- ・公衆トイレ (駅やスーパーを含む)
- ・商業施設や繁華街など

誰でも出入りできて

人の目線がない場所

19

見るべきポイント



20

見るべきポイント



21

見るべきポイント



22

見るべきポイント



23

見るべきポイント



24



25



26



27



28

見るべきポイント



29

見るべきポイント



30

見るべきポイント



31

子どもが危険な場所と安全な場所を見分ける力をつけるために…

→ **地域安全マップ**



32

○地域安全マップとは

犯罪が起こりやすい場所を、風景写真を
使って解説した地図のこと。

→景色がはらむ危険性に気づく能力「景色読解力」を高め、子どもの防犯リテラシーを高める



33

地域安全マップの作成手順

- 1 事前学習・班編成
- 2 フィールド・ワーク
- 3 マップづくり
- 4 発表・まとめ

<参考> 小宮信夫「地域安全マップ作製マニュアル(三訂版)」東京法令出版

34

出前講座：地域安全マップを作ろう！

- 1 対象：県内の小学生及び義務教育学校前期課程児童
(主に4～6年生) おおむね10名以上
- 2 内容：①事前説明(40分)→②フィールドワーク(60分)
→③地図作り(120分)→発表(20分)
※おおむね4時間程度
- 3 講師：県職員
- 4 費用：講師派遣無料
- 5 申込：年間を通じて随時受付中

<地域安全マップをつくろう！【随時募集】(県HP)>
<https://www.pref.gunma.jp/page/8357.html>



35

③パトロールについて



36

犯罪が発生する前に兆候がある

- 1 犯人は**事前に下見**をしている
- 2 **子どもとの間に何らかの言葉**や**身振りのやりとり**がある。
(「視線を投げかける」「面白い身振りを
する」などの会話(コミュニケーション)
がある。)
- 3 「**ついて回る**」「**待ち伏せする**」
「**じーっと見てくる**」人がある。

37

こんな状況が続いたら危険

- 1 **半年に6回**
「変な様子の人を見た」「声かけがあった」
→この地域を犯罪者が**下見**をしている
- 2 **1ヶ月に3回**
「見慣れない車がずっと停まっている」
「つきまとい事案があった」
→**地域を見守らないと犯罪が発生する**
- 3 **1週間に2回**
「ずっと待ち伏せているような人がいる」
「事件が起きた」
→この**地域は危ない**

引用：清水奈穂著「犯罪から園を守る・子どもを守る」(株)メイト

38

ホットスポットパトロール

「**犯罪多発地点**」や「**犯罪誘発地点**」

入りやすく見えにくい**駐車場**や**公園**、**落書き**や**ゴミが放置された場所**、**管理されていない空き地**など

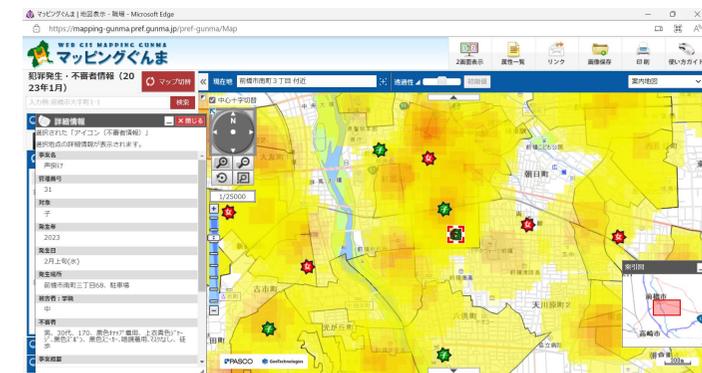
ホットスポット**1カ所**につき**15分以内**で**滞留**することを繰り返す



危険な場所の監視力を高める

39

犯罪発生・不審者情報マップ



<マッピングぐんま(県HP)>

<https://mapping-gunma.pref.gunma.jp/pref-gunma/Portal>

40

上州くん安全・安心メール



<上州くん安全・安心メール(県警HP)>

<https://www.police.pref.gunma.jp/28879.html>

41

④もし犯罪者に狙われたら？



42

もし、犯罪者に狙われたら？

犯人は20m手前から子どもに狙いを定め、5～6m手前で行動に移します。

- 1 大人から常に**3～4m**くらい距離をとる。
- 2 危険を感じたら、**20mを全力で走って逃げる。**
★荷物(ランドセル)は捨てて逃げる！
- 3 **大声を出す。**
- 4 車の進行方向とは**逆方向に逃げる。**

護身術は逃げるための一助、戦うためのものではない

43

出前講座：子ども向け防犯出前講座

- 1 対象：小学生（小学校、放課後児童クラブ等）
- 2 内容：（1）誘拐連れ去り防止（低学年向け）
（2）防犯ブザー訓練（中学年向け）
（3）危険を回避する力をつける（高学年向け）
- 3 講師：県職員、警察職員
- 4 費用：講師派遣無料
- 5 申込：年間を通じて随時受付中
（1ヶ月前までに申し込み）

<子ども向け防犯出前講座の講師を派遣します

【随時募集】（県HP）>

<https://www.pref.gunma.jp/page/8370.html>



44

群馬県の動画情報サイトtsulunos
「ぐんまちゃんと学ぼう! ~防犯ブザーをならしてにげる」

45

⑤まとめ

46

子どもに安全な街は 大人も安全な街

子ども自身の危険予測能力を高める
&
地域全体の安全を向上させる
ことが重要

**学校・保護者・地域が連携して、
子どもの安全を守っていきましょう**

47

その他参考文献

- ・小宮信夫「子どもは『この場所』で襲われる」
中央精版印刷株式会社 2015年 189ページ
- ・小宮信夫「見てすぐわかる犯罪地図 なぜ『あの場所』は犯罪を引き寄せるのか」 株式会社青春出版社 2015年 173ページ
- ・小宮信夫「犯罪に強いまちづくりの理論と実践—地域安全マップの正しいつくり方—」 イマジン出版株式会社 2006年 69ページ

48